

社会資本総合整備計画（特定計画） 事後評価書

平成28年3月29日

計画の名称	23 安心・安全・快適な移動空間ネットワーク等の構築（防災・安全）		
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）	交付対象	大阪府 枚方市
計画の目標			

主要バス路線における歩道設置・交通円滑化、駅前広場の整備並びに身近な公園整備等により、安心・安全・快適な移動空間ネットワークや市民が憩える空間を構築し、市民の交通や移動・住みよさに関し、満足度の高い魅力あるまちづくりを推進する。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構造物の適切な維持管理を行い、安心・安全・快適な移動空間ネットワークを構築し、市民の交通や移動に関する満足度割合を23%（平成21年）から28%（平成25年）に増加</li> <li>・ まちのバリアフリーに係る市民の満足度割合を9%（平成21年）から15%（平成25年）に増加</li> </ul>
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H25末)							
① 市が実施する市民意識調査の交通や移動に関する調査項目により算出。 (交通や移動に関する満足度割合) = (市民意識調査：満足～やや満足割合の合計)	23%	25%	28%							
② 市が実施する市民意識調査のバリアフリーに関する調査項目により算出。 (バリアフリーに関する満足度割合) = (市民意識調査：満足～やや満足割合の合計)	9%	12%	15%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	351 百万円	A	343 百万円	B	0 百万円	C	8 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.3%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
枚方市 土木部 土木総務課、道路管理課、道路補修課、道路整備課、公園課、交通対策課	平成27年4月～平成28年3月
公表の方法	窓口にて閲覧。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		
23-A10	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	長尾船橋線	舗装修繕 L=316m	枚方市						25	社会資本より移行
23-A13	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	枚方藤阪線	舗装修繕 L=2,206m	枚方市						125	社会資本より移行
23-A14	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	牧野長尾線	舗装修繕 L=1,520m	枚方市						80	社会資本より移行
23-A16	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	山之上高田線	舗装修繕 L=549m	枚方市						24	社会資本より移行
23-A18	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	阪八幡線(西河原橋)	橋梁修繕 L=0.027km	枚方市						20	社会資本より移行
23-A19	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	村野1号線(前田橋)	橋梁修繕 L=0.021km	枚方市						10	社会資本より移行
23-A25	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	津田第1号線(交野踏切)	踏切拡幅(通学路安全確保) L=25.0m、W=7.0m	枚方市						8	
23-A26	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	王仁公園前線(第一藤阪踏切)	踏切拡幅(通学路安全確保) L=10.4m、W=7.0m	枚方市						7	
23-A27	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	楠葉朝日第3号線(第四号橋)	橋梁修繕、橋梁耐震 L=5.8m、W=8.0m	枚方市						4	
23-A28	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	池之宮村野線(無名79号橋)	橋梁修繕、橋梁耐震 L=3.3m、W=4.3m	枚方市						3	
23-A29	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	中部区画1号線(ひとつや橋)	橋梁修繕、橋梁耐震 L=9.3m、W=17.5m	枚方市						10	
23-A30	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	桜町3号線(桜橋)	橋梁修繕、橋梁耐震 L=10.0m、W=4.2m	枚方市						6	
23-A31	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	牧野北町第2号線(無名165号橋)	橋梁修繕、橋梁耐震 L=8.0m、W=4.6m	枚方市						4	
23-A32	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	岡東山之上東1号線	舗装修繕 L=260m	枚方市						17	
												小計(道路事業)			343			
												合計			343			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	率(基本)	1	事業内容(延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
23-C3	計画・調査	一般	枚方市	直接		調査・検討	0.55	路面性状調査	舗装面のひび割れ・わだち掘れ等調査	枚方市						1	
23-C4	計画・調査	一般	枚方市	直接		調査・検討	0.55	道路施設調査点検事業	道路施設調査点検	枚方市						7	
												合計			8		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
23-C3	舗装面のひび割れ・わだち掘れ等の状況を把握し、的確な舗装修繕事業を展開する。															
23-C4	道路ストックの点検により道路構造物の状況を把握し、的確な舗装や橋梁の修繕事業を展開する。															

その他関連する事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		
7-A'1	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	枚方市駅前線(岡本町、新町1丁目)	バリアフリー化 L=218m (歩道段差解消等)	枚方市					15	防災・安全移行元	
7-A'2	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	禁野枚方線(岡東町)	バリアフリー化 L=364m (歩道段差解消等)	枚方市					22	防災・安全移行元	
7-A'3	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	岡東山之上東1号線(岡東町)	バリアフリー化 L=220m (歩道段差解消等)	枚方市					8	防災・安全移行元	
7-A'4	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	市役所前線(岡東町)	バリアフリー化 L=270m (歩道段差解消等)	枚方市					8	防災・安全移行元	
7-A'12	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	修繕	0.55	楠葉中宮線	舗装修繕 L=527m	枚方市					40	防災・安全移行元	
7-A'15	道路	一般	枚方市	直接		S街路	改築	0.55	枚方藤阪線	現道拡幅 L=398m	枚方市					73	防災・安全移行元	
7-A'21	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	阪八幡線(養父東町)	交差点改良+歩道設置 N=1箇所, L=200m	枚方市					39	防災・安全移行元	
7-A'23	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	津田駅前第14号線	歩道整備 L=190m	枚方市					0	防災・安全移行元	
7-A'24	道路	一般	枚方市	直接		市町村道	交安	0.55	枚方新香里線(枚方公園駅前広場)	バリアフリー化 L=100m (歩道段差解消等)	枚方市					2	防災・安全移行元	
7-B'2	公園	一般	枚方市	直接			改良	0.5	(仮称)津田駅前東公園	公園整備 A≒0.3ha	枚方市					45	防災・安全移行元	
7-B'3	公園	一般	枚方市	直接			用地	0.33	(仮称)津田駅前東公園	公園整備 A≒0.3ha	枚方市					299	防災・安全移行元	
7-C'1	計画・調査	一般	枚方市	直接			計画策定	0.55	市内道路橋修繕計画策定事業 256橋	長寿命化修繕計画	枚方市					10	防災・安全移行元	
7-C'2	道路	一般	枚方市	直接			駐輪場	0.55	津田東自転車駐車場	自転車駐車場整備 A=700㎡	枚方市					123	防災・安全移行元	
												合計	684					

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		橋梁については長寿命計画に基づき点検・修繕を行い、路面については計画的に道路舗装修繕を行ったことにより、安心・安全・快適な移動空間ネットワークが構築された。バリアフリー基本構想に基づき特定経路において移動の円滑化に取り組み、順次、歩道整備事業も行ったことにより安心・安全・快適な移動空間の確保ができた。				
II 定量的指標の達成状況	指標①・構造物の適切な維持管理を行い、安心・安全・快適な移動空間ネットワークを構築し、市民の交通や移動に関する満足度割合を23% (平成21年) から28% (平成25年) に増加	最終目標値	28%	目標値と実績値に差が要因	幹線道路の拡幅や駅前広場周辺の整備を行ったことにより、安全で快適な道路環境に関する市民の満足度が向上した。	
		最終実績値	28%			
	指標②：まちのバリアフリーに係る市民の満足度割合を9% (平成21年) から15% (平成25年) に増加	最終目標値	15%	目標値と実績値に差が要因		主要道路の舗装修繕及び、橋梁長寿命化計画を策定及び実施を行い、市内道路のバリアフリー化や歩道整備事業を進めることにより安全で快適な道路環境に関する市民の満足度が向上した。
		最終実績値	28%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		市内主要道路の改良として道路舗装、また橋梁の点検・補修に併せた耐震化も行っており、防災・減災としての効果が期待できる。				

3. 特記事項(今後の方針等)
平成26年度以降においても安全で快適な道路環境に関する要素事業をパッケージ化した新たな社会資本総合整備計画に基づき、幹線道路網の整備及び歩道整備、道路修繕などに取り組んでいる。